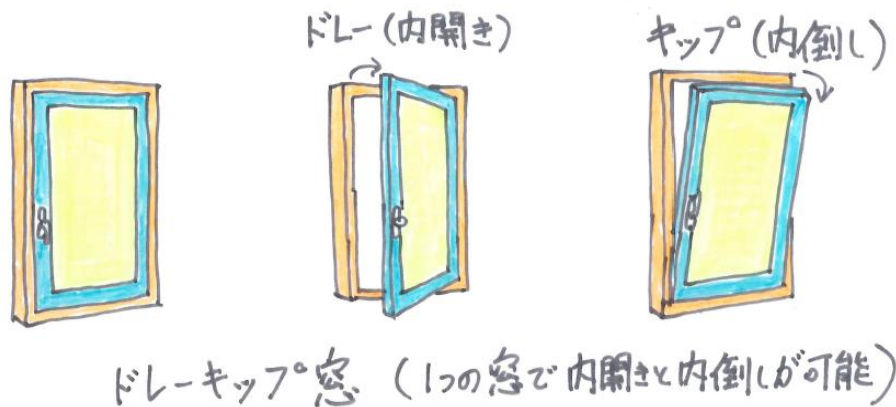


5. 各部寸法

2回以上繰り返し出題のある内容で重要と判断した項目を抽出した。

(1) 窓

- ・**外開き窓**は、引違い窓に比べて、雨仕舞・気密性・遮音性のうえでは有利だが、ガラス外面の清掃は不便である。
- ・**突出し窓**は、縦長ではなく、横長の開口部に適しており、気密性・水密性にも特に劣るものではない。
- ・**はめ殺し窓**は、主に採光等を目的とし、気密性・水密性に優れているが、室内からのガラス外面の清掃が難しい。
- ・**縦軸回転窓**は、換気に便利で、ガラス面の清掃も容易であるが、しっかりしたストッパーにしないと風にあおられる。
- ・**サッシ性能**は、日本工業規格(JIS)により、耐風圧性、気密性、水密性等について等級が定められている。
- ・**ドレーキップ(内開き内倒し)窓**は、内倒しによる換気窓としての機能と内開きによる清掃の容易さとを兼ね備えている。
- ・**横滑り出し窓**は、横滑り開口角度が75°であり、清掃時に大きく開けたり、反転させたりすることができない。



(2) 天井高さ

- ・体育館の天井高さを、**バレーボール**の公式試合が行えるように**15m**とした。
- ・**剣道場**の有効天井高は、動作寸法をもとに安全のためのスペースを見込んで、**5m**とした。
- ・屋内の公式試合用の**テニスコート**中央部分の天井高さは、**12m以上**必要である。

(3) 車路

- ・小型自動車用の自走式地下駐車場において、二方通行の車路の屈曲部の内法半径を、**5m**とした。
- ・車路の幅を**狭く**するためには、直角駐車ではなく、60° 駐車とする
- ・地下に駐車場を設ける場合の大規模店舗の柱スパンは、柱間に自動車が並列に**3台駐車**できるように、8.5mとした。
- ・自動車の車路は、**傾斜部**の本勾配を1/6とし、傾斜部の始まりと終わりの部分の緩和勾配を1/12とした。

(4) カウンター高さ

- ・**事務所ビル**の1階受付カウンターの高さは、約70cmのローカウンターか、約95cmの2段式カウンターとする。
- ・**シティホテル**のフロントカウンターの高さは、車いす使用者用は75cmであるが、一般用は100～110cmである。
- ・**図書**の貸出用のカウンターの床面からの高さは、子どもや車いす使用者に配慮して、70cmとした。

(5) 競技場の面積

- ・**卓球台**を中央に配置する卓球コート1面の広さを、6m×12mとした。
- ・**武道場**において、柔道場及び剣道場として兼用する競技場の床面の内法寸法は、15m×15mとした。
- ・成人用**バスケットボール**のコートを2面配置する体育館の床面の内法寸法を、30m×35mとした。
- ・6人制**バレーボール**の公式試合のコート(2面配置)は、内法寸法24m×24mではなく、48m×34mが必要である。

(6) 出入口の幅

- ・病院において、**病室**の出入口の有効幅を120cmとした。
- ・車いす使用者の利用する**便所**の出入口の有効幅を95cmとし、引戸を設けた。

(7) ローパーテーションの高さ

- ・座ったままで**見通しが利く**ようにするため、事務スペースに置くローパーテーションの高さを110cmとした。
- ・事務室のパーテーション高さは、いすに座った状態で**見通しを遮る**ためには、120cm以上必要である。

(8) 小便器の間隔

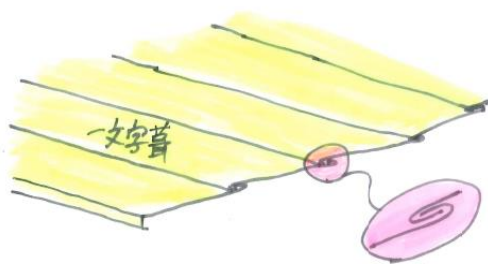
- ・事務所ビルの便所において、壁掛型**小便器の間隔**を心々75cmとした。
- ・保育所の**幼児用トイレ**において、3～5歳児用の小便器の間隔を、55cmとした。

(9) 会議室の面積

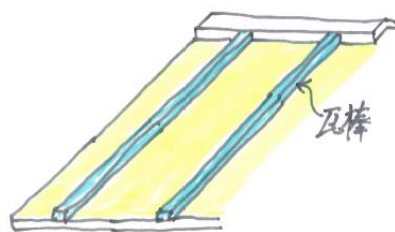
- ・事務所の会議室は、**2～5㎡/人**が目安なので、20人なら40㎡～100㎡が必要である。
- ・事務所ビルで**12人**程度の会議室の内法寸法は、5m×10mで計画した(2～5㎡/人で計算する)。

(9) 屋根の勾配

- ・屋根葺材に金属板を用いた落雪屋根の勾配を、**4/10**とした。
- ・金属板により屋根を葺く場合、一文字葺より**瓦棒葺**のほうが、屋根勾配を**緩く**することができる。



一文字葺の方が勾配が急



瓦棒葺の方が勾配が緩い